

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月1日

上場会社名 株式会社 マースエンジニアリング

コード番号 6419 URL <http://www.mars-eng.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松波 明宏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 佐藤 敏昭

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

TEL 03-3352-8555

配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	22,837	△1.0	6,012	7.5	6,171	7.9	3,755	17.1
21年3月期第3四半期	23,067	—	5,590	—	5,718	—	3,208	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	203.60	—
21年3月期第3四半期	173.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	56,275	37,528	66.7	2,034.50
21年3月期	54,712	35,371	64.1	1,900.93

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 37,528百万円 21年3月期 35,065百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
22年3月期	—	35.00	—		
22年3月期 (予想)				30.00	65.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,819	10.1	7,838	5.9	7,953	4.7	4,703	8.9	254.97

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 22,720,000株 21年3月期 22,720,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 4,273,782株 21年3月期 4,273,724株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 18,446,270株 21年3月期第3四半期 18,446,340株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、外需や経済対策に牽引されつつも本格的な回復基調には転じておらず、企業の設備投資は低い水準で推移しました。また、失業率は高く個人消費も低迷している中、デフレの懸念も浮上し、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの主要販売先であるパチンコ業界におきましては、1円パチンコに代表される低貸玉営業が従来の遊技ファンだけでなく、新規のファンやオールドファンから支持を得て全国に普及し、長期にわたり減少し続けていた遊技人口は回復の兆しが見受けられるようになりました。しかしながら、ホールに対する金融面は依然として厳しく、雇用情勢の悪化や所得の減少による個人消費の冷え込みの影響も受けて、ホールの経営環境は厳しさが増してきました。

そのような中で当社グループは開発・製造・販売・アフターサービスに至るまで一貫体制でコスト低減に努めるとともに、開発型企業グループとして経営や業務効率の改善をサポートするシステムの開発に努めてまいりました。その開発の代表格となる「パーソナルPCシステム（以下、「パーソナル」という。）」は遊技機ごとに計数機を備え付けたプリペイドカードシステムで、従業員の玉運び・玉積み業務をなくし、少人数で効率的なホール運営ができるシステムとして、市場から高い評価を得て、業界標準化を目指して販売を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高228億37百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益60億12百万円（同7.5%増）、経常利益61億71百万円（同7.9%増）、四半期純利益37億55百万円（同17.1%増）となりました。

事業別の状況は次のとおりです。

[アミューズメント関連事業部門]

（プリペイドカードシステム）

プリペイドカードシステムであるサイクルカードシステムは、遊技機ごとに計数機を備え付けたパーソナルを主軸システムとして販売してまいりました。

集客のために玉積み演出が主流となっている業界内において、玉積みをしないうパーソナルはホール経営を効率良く行うためのシステムとして認知され、着実に導入店舗数は増加しております。複数の競合他社からも同様のシステムが販売され始めたことで、パーソナルの業界標準化に向けて一層加速していくものと考えます。当社はパイオニアとしての導入実績、利便性や機能の充実、トータルシステムでの提案ができるバックボーンの大きさを前面に押し出し、競合他社との差別化を図りながら販売を展開してまいりました。

この結果、パーソナルの売上実績は204店舗、発売以来の累計導入（実稼動）店舗数は当四半期末時点で526店舗となりました。また、パーソナルを含めたサイクルカードシステムの売上実績は254店舗、導入（実稼動）店舗数は累計2,049店舗（市場シェア20.0%）となり、中期計画として掲げていたプリペイドカードシステムにおける市場シェア20%を獲得いたしました。

当システムの個別売上高は113億58百万円となりました。

（景品管理システム）

「景品管理のマース」としてのブランドと高いシェアを誇る景品管理システムは、当社ユーザーのリプレースを中心に販売を行ってまいりました。また、パーソナルと連動することで、遊技ファンの利便性やセキュリティが向上するため、パーソナル導入店舗に提案販売を行ってまいりました。

この結果、当システムの個別売上高は25億51百万円となりました。

（RFID）

アミューズメント施設向け認証システムやセキュリティ機器向け認証基板等を拡販していくため、展示会等への積極的な出展を行い、RFIDの新たな市場を模索してまいりました。新たな市場として、公共施設である図書館向けに導入実績を挙げることができました。

健診センター向けシステムにおいては順調に全国の施設へ導入実績を積み重ね、今後の大きな商材として更なる拡販を見込んでおります。

この結果、RFIDの個別売上高は5億64百万円となりました。

その他品目の個別売上高を合計しました結果、アミューズメント関連事業部門の個別売上高は224億31百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

[その他事業部門]

その他事業部門におきましては、ホテル事業を行っております。宿泊客から立地の良さや質の高いサービスを高く評価していただいているものの、世界的な景気の影響で観光客やビジネス客が減少しており、経営環境は厳しくなっております。

この結果、その他事業部門の個別売上高は4億5百万円（前年同期比10.2%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

当第3四半期連結会計期間末の総資産は562億75百万円となり、前連結会計年度末と比較して15億62百万円増加いたしました。

流動資産は399億56百万円となり、前連結会計年度末と比較して20億28百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、受取手形及び売掛金が11億12百万円増加し119億50百万円、有価証券が10億4百万円増加し33億86百万円となりました。

固定資産は163億18百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億65百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、投資その他の資産の投資有価証券が5億33百万円減少し46億41百万円となりました。

流動負債は129億5百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億91百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、未払法人税等が17億30百万円減少し7億25百万円となりました。

純資産は375億28百万円となり、前連結会計年度末と比較して21億57百万円増加いたしました。

自己資本比率は66.7%となり、前連結会計年度末と比較して2.6ポイント増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は141億84百万円となり、前連結会計年度末と比較して80百万円の減少となりました。

当第3四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は10億97百万円の収入（前年同期は19億29百万円の収入）となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益64億2百万円等であり、主な減少要因は、法人税等の支払額40億95百万円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は1億9百万円の支出（前年同期は6億99百万円の収入）となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入13億68百万円、投資有価証券の取得による支出5億8百万円、関係会社株式の取得による支出3億69百万円、子会社株式の取得による支出3億36百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は10億69百万円の支出（前年同期は9億70百万円の支出）となりました。主な要因は、配当金の支払額10億60百万円等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成21年5月14日に公表いたしましたとおり、変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出については、実地棚卸を実施せず、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,250,152	12,333,501
受取手形及び売掛金	11,950,083	10,837,099
リース投資資産	5,238,746	4,707,231
有価証券	3,386,637	2,381,642
商品及び製品	2,519,092	2,469,106
仕掛品	68,788	19,286
原材料及び貯蔵品	1,849,810	1,784,286
その他	3,863,671	3,544,246
貸倒引当金	△170,007	△147,571
流動資産合計	39,956,975	37,928,828
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,211,775	5,141,572
その他(純額)	4,781,392	4,936,311
有形固定資産合計	9,993,168	10,077,883
無形固定資産		
その他	149,757	125,826
無形固定資産合計	149,757	125,826
投資その他の資産		
その他	6,495,222	6,923,928
貸倒引当金	△319,322	△343,570
投資その他の資産合計	6,175,899	6,580,357
固定資産合計	16,318,825	16,784,067
資産合計	56,275,800	54,712,896
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,675,998	2,797,141
リース債務	2,265,656	2,131,110
未払法人税等	725,721	2,456,444
前受金	5,844,365	5,178,921
賞与引当金	210,673	412,678
その他	1,182,705	920,005
流動負債合計	12,905,120	13,896,301
固定負債		
リース債務	3,912,007	3,622,555
退職給付引当金	34,016	31,321
役員退職慰労引当金	642,230	615,806
負ののれん	28,345	40,493
その他	1,225,188	1,134,888
固定負債合計	5,841,788	5,445,064
負債合計	18,746,908	19,341,366

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,934,100	7,934,100
資本剰余金	8,371,830	8,371,830
利益剰余金	31,045,844	28,396,914
自己株式	△9,261,478	△9,261,346
株主資本合計	38,090,296	35,441,498
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△568,261	△382,795
繰延ヘッジ損益	6,857	6,356
評価・換算差額等合計	△561,404	△376,439
少数株主持分	—	306,470
純資産合計	37,528,892	35,371,529
負債純資産合計	56,275,800	54,712,896

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	23,067,769	22,837,222
売上原価	11,934,965	11,129,487
売上総利益	11,132,804	11,707,735
販売費及び一般管理費	5,542,186	5,695,179
営業利益	5,590,617	6,012,555
営業外収益		
受取利息	28,615	8,958
受取配当金	47,051	67,426
有価証券売却益	21,793	—
負ののれん償却額	12,208	12,400
持分法による投資利益	—	34,825
その他	30,391	35,181
営業外収益合計	140,060	158,791
営業外費用		
支払利息	365	—
持分法による投資損失	5,920	—
創立費償却	791	—
貸倒引当金繰入額	5,000	—
営業外費用合計	12,077	—
経常利益	5,718,599	6,171,346
特別利益		
外形標準課税還付金	32,630	—
投資有価証券売却益	—	243,094
特別利益合計	32,630	243,094
特別損失		
固定資産除却損	15,388	11,327
たな卸資産評価損	101,338	—
貸倒引当金繰入額	200,000	—
投資有価証券売却損	—	998
特別損失合計	316,727	12,325
税金等調整前四半期純利益	5,434,503	6,402,115
法人税、住民税及び事業税	2,298,326	2,369,417
法人税等調整額	△95,263	264,640
法人税等合計	2,203,063	2,634,058
少数株主利益	23,427	12,351
四半期純利益	3,208,012	3,755,706

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	8,797,080	7,333,373
売上原価	4,662,225	3,556,543
売上総利益	4,134,855	3,776,830
販売費及び一般管理費	1,898,759	1,885,458
営業利益	2,236,096	1,891,372
営業外収益		
受取利息	12,271	1,298
受取配当金	22,438	25,702
負ののれん償却額	4,097	4,064
その他	2,610	11,789
営業外収益合計	41,418	42,855
営業外費用		
持分法による投資損失	43,200	19,636
貸倒引当金繰入額	1,900	—
営業外費用合計	45,100	19,636
経常利益	2,232,413	1,914,590
特別利益		
外形標準課税還付金	2,438	—
投資有価証券売却益	—	6,475
特別利益合計	2,438	6,475
特別損失		
固定資産除却損	13,029	716
特別損失合計	13,029	716
税金等調整前四半期純利益	2,221,822	1,920,349
法人税、住民税及び事業税	886,419	615,858
法人税等調整額	46,076	183,839
法人税等合計	932,495	799,698
少数株主利益	9,133	—
四半期純利益	1,280,192	1,120,651

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,434,503	6,402,115
減価償却費	421,248	292,180
のれん償却額	—	25,297
負ののれん償却額	△12,208	△12,400
引当金の増減額 (△は減少)	144,547	△174,698
受取利息及び受取配当金	△75,666	△76,384
支払利息	365	—
持分法による投資損益 (△は益)	5,920	△34,825
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△242,096
固定資産除却損	15,388	11,327
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,928,433	△1,112,984
リース投資資産の増減額 (△は増加)	—	△523,520
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△433,726	△165,012
営業貸付金の増減額 (△は増加)	△1,020,652	△546,127
仕入債務の増減額 (△は減少)	721,199	△121,142
前受金の増減額 (△は減少)	1,166,938	665,444
リース債務の増減額 (△は減少)	—	423,998
その他	△45,678	303,958
小計	3,393,747	5,115,130
利息及び配当金の受取額	77,088	77,799
利息の支払額	△365	—
法人税等の支払額	△1,540,735	△4,095,795
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,929,734	1,097,133
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	1,928,726	—
有形固定資産の取得による支出	△340,111	△193,082
投資有価証券の取得による支出	△1,061,754	△508,018
投資有価証券の売却による収入	—	1,368,781
子会社株式の取得による支出	—	△336,000
関係会社株式の取得による支出	—	△369,400
貸付金の回収による収入	222,400	—
その他	△50,005	△71,352
投資活動によるキャッシュ・フロー	699,255	△109,071
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△93,000	—
自己株式の取得による支出	△336	△132
配当金の支払額	△873,401	△1,060,930
少数株主への配当金の支払額	△4,000	△8,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△970,737	△1,069,063
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	572
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,658,252	△80,428
現金及び現金同等物の期首残高	10,024,171	14,264,479
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,682,424	14,184,050

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間については、アミューズメント関連事業の売上高、営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間については、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間については、海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」 四半期個別財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,113,778	6,531,739
受取手形及び売掛金	5,107,657	4,700,366
有価証券	3,124,592	2,119,602
商品及び製品	2,477,110	2,423,063
仕掛品	33,415	18,102
原材料及び貯蔵品	995,269	894,225
その他	1,148,228	1,317,609
貸倒引当金	△8,975	△8,406
流動資産合計	18,991,076	17,996,303
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,855,750	1,855,750
その他(純額)	2,045,361	2,148,965
有形固定資産合計	3,901,112	4,004,716
無形固定資産		
その他	80,259	57,555
無形固定資産合計	80,259	57,555
投資その他の資産		
投資有価証券	2,378,862	3,318,114
子会社及び関係会社株式	6,849,024	6,143,624
その他	2,805,245	2,254,188
貸倒引当金	△97,685	△128,427
投資その他の資産合計	11,935,446	11,587,500
固定資産合計	15,916,818	15,649,772
資産合計	34,907,894	33,646,075

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,510,153	2,604,038
未払法人税等	436,811	1,160,544
賞与引当金	167,580	329,022
その他	644,273	437,874
流動負債合計	3,758,817	4,531,478
固定負債		
役員退職慰労引当金	642,230	615,806
その他	9,340	10,540
固定負債合計	651,570	626,346
負債合計	4,410,388	5,157,825
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,934,100	7,934,100
資本剰余金	8,371,830	8,371,830
利益剰余金	23,886,932	21,694,037
自己株式	△9,261,478	△9,261,346
株主資本合計	30,931,384	28,738,621
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△433,877	△250,370
評価・換算差額等合計	△433,877	△250,370
純資産合計	30,497,506	28,488,250
負債純資産合計	34,907,894	33,646,075

(注) この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業損益の部		
売上高	17,307,899	18,278,352
売上原価	9,456,589	10,090,955
売上総利益	7,851,309	8,187,396
販売費及び一般管理費	4,765,002	4,841,724
営業利益	3,086,307	3,345,672
営業外損益の部		
営業外収益		
受取利息	31,882	25,250
受取配当金	1,188,431	1,186,707
その他	54,701	32,282
営業外収益合計	1,275,015	1,244,239
営業外費用		
その他	5,000	-
営業外費用合計	5,000	-
経常利益	4,356,321	4,589,912
特別損益の部		
特別利益		
投資有価証券売却益	-	243,094
外形標準課税還付金	32,630	-
貸倒引当金戻入益	5,635	9,131
特別利益合計	38,265	252,225
特別損失		
固定資産除却損	14,125	9,786
投資有価証券売却損	-	998
たな卸資産評価損	101,338	-
貸倒引当金繰入額	200,000	-
特別損失合計	315,463	10,784
税引前四半期純利益	4,079,124	4,831,354
法人税、住民税及び事業税	1,238,357	1,372,190
法人税等調整額	△18,584	159,491
法人税等合計	1,219,772	1,531,682
四半期純利益	2,859,351	3,299,671

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。